allcinema

祇園の姉妹（1936）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 69分
初公開日 1936/10/15
公開情報 松竹キネマ

【解説】
溝口健二が自らの原作を監督した、最高傑作と評される人間ドラマ。依田義賢が脚色を担当。山田五十鈴と梅村蓉子が対照的な姉妹を見事に演じ分けた。残念ながら一部のフィルムが消失してしまっている。1956年に同名で再映画化された。
人情に厚く男に尽くす姉の梅吉と、気が強く男から金品を得ようとする妹のおもちゃ。二人は京都で有名な芸妓の姉妹だった。ある日、梅吉の世話をしていた古沢が二人に家に転がり込んできた。姉が留守なのを良いことに、今や破産し無一文となっていた古沢を、おもちゃは追い出してしまう。二人はそれぞれ男を相手に商売を続けるが、現実は厳しく、やがて男に裏切られ惨めに捨てられてしまう。

【クレジット】
監督 溝口健二
原作 溝口健二
脚色 依田義賢
撮影 三木稔
編集 板根田鶴子
助監督 高木孝一
森一生
坂本明
出演 山田五十鈴 芸妓おもちゃ
梅村蓉子 姉芸妓梅吉
久野和子 夫人おみえ
大倉文男 骨董屋聚楽堂
深見泰三 呉服屋の番頭木村保
いわま桜子 工藤夫人おまさ
林家染之助 古沢の番頭定吉
葵令子 芸妓の梅龍
滝沢静子 扇屋の女将お千代
橘光造 運転手・立花
三桝源女 定吉の女房おはん

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.